

みんなで考えよう 「気候変動 × わたしたちの食」

わたしたちが大切にしてきた岡山の食はどうなるの?! 一緒に未来の答えを見つけよう

世界中で気候変動が進行し、陸でも海でも異変が起きています。

岡山の米や桃やブドウ、瀬戸内のカキなど、私たちの食卓を支えてきた食材にも、気候変動の影響が見え始めています。

専門家による最新のデータ（科学の目）と生産現場のリアルな声（現場の実感）をもとに、このまま気候変動が続くとわたしたちの食はどうなるのか、「食」や「エネルギー」について会場のみなさんと一緒に考えてみませんか？



日時 2026年11月8日(日) 13:00～16:00 (開場 12:30)

会場 **オルガホール**
岡山市北区奉還町一丁目7-7

岡山駅西口(運動公園口)を出て約150m東へ、
地下ホール入口はオルガ正面脇にあります

定員
100名

参加
無料

●事前申込制●
(締切：11月4日(水))

主催：公益財団法人おかやま環境ネットワーク

共催：生活協同組合おかやまコープ

後援：環境省中国四国環境局、農林水産省中国四国農政局、岡山県、岡山県教育委員会、岡山市
JA全農おかやま、JF岡山漁連、岡山県生活協同組合連合会

プログラム詳細・講師紹介・お申込方法は裏面をご覧ください。

裏面へ➡

みんなで考えよう
「気候変動 × わたしたちの食」

2026年11月8日(日) 13:00～16:00 (開場 12:30)

■ プログラム

13:00 開会

13:05 基調講演「世界と日本の食料生産と気候変動」

講師：飯泉 仁之直 (いいずみ としちか) 氏

農研機構農業環境研究部門気候変動適応策研究領域上級研究員

14:10 部会報告

- ・里海づくり推進部会
- ・おかやまの豊かな自然とくらしを考える部会
- ・エネルギー問題を踏まえた気候変動をくらしの中で考え行動する部会

14:25 休憩

14:35 パネルディスカッション

「岡山での食への影響をみんなで語ろう！」

パネラー：梅谷 真慈 氏 (NPO 法人英田上山棚田団理事)
松本 正樹 氏 (邑久町漁業協同組合組合長)
井ノ本瑞恵 氏 (中国電力株式会社岡山支社長)
池田萌々子 氏 (岡山県立大学保健福祉学部子ども学科学部生)
加藤内蔵進 氏 (岡山大学名誉教授)

コメンテーター：飯泉仁之直 氏

モデレーター：沖 陽子 氏 (岡山大学名誉教授、弊財団代表理事)

15:55 閉会

■ 基調講演講師プロフィール

基調講演講師

いいずみ としちか

飯泉 仁之直 氏

農研機構農業環境研究部門
気候変動適応策研究領域
上級研究員



気候変動は世界の穀物生産に既にどういった影響を及ぼしているか、将来見込まれる影響はどのようなものか、についての研究に従事。気候変動の悪影響を軽減するための適応技術として、干ばつや熱波など極端気象による穀物生産の変動を収穫の数か月前に予測するシステムを気象機関と共同で開発した。

気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第7次評価報告書の第17章「農業、食料、林業、繊維および漁業」で主執筆者を務める。茨城県出身。



《参加お申込み方法・ご案内》

- ・お申込みは、二次元コードまたは下記の申込み内容をすべて記載してメールで11月4日(水)までに、お申込みください。
- ・当日は、岡山マラソン開催日です。会場周辺は交通規制が予定されています。なるべく公共交通機関でご来場ください。
- ・お飲み物は、環境に配慮し、マイボトルをご持参ください。



<https://forms.gle/hg1YwRwtGtPJFTQL6>

お問い合わせ・申込み先：(公財)おかやま環境ネットワーク

TEL:070-2355-1420 E-mail: kankyounet@okayama.coop



インキと用紙は、人と環境にやさしい原料を使用しています。

参加申込書 (お一人ずつお申込みください)

参加者名		所 属 (なければ個人)	
E-mail アドレス		携 帯 電話番号	
お住まい	☐ 岡山県内 ()、 ☐ 岡山県外 ()		